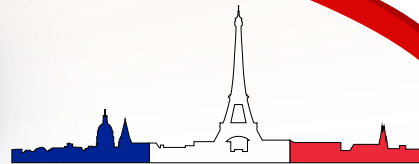


FROM **FRANCE**



親も子どもも幸せに生きられる社会へ



# フランスの子育てから考える 皆で育てる社会づくり ～親子支援とジェンダー～

ハイブリット同時開催

2026. **8.17** (月) 18:30～20:30

会場: 札幌エルプラザ公共4施設 JR札幌駅北口から3分  
2階会議室1・2

札幌市男女共同参画センター

「お母さんだから」

そんな一言に息苦しくなってませんか？

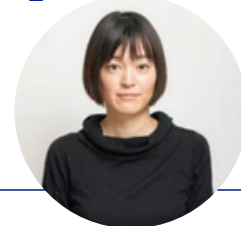
「母性神話」が女性を孤立させ、育児の負担を一人に背負わせている現状があるように思います。

女性の社会的自立阻むだけではなく、子どもの健やかな育ちをも窮屈にしているのではないのでしょうか。この学習会では、フランスの子ども家庭福祉を通じて、女性、子ども/若者を個の権利主体として尊重しライフステージをつなぐ支援、教育のあり方を考えます。

アワ アキコ

安發明子さん

フランス子ども家庭福祉研究者



フランスの家族観、社会制度、施策を比較対象として取り上げます。「個」を権利主体として捉え支える、ライフステージをつなぐ一人ひとりに届けることを目的としたフランスの子ども家庭福祉とソーシャルワークをもとに、日本の親子のウェルビーイング改善に向けた実践的なネクストステップを探ります。

どなたでも  
参加できます

参加料：一般1,000円 学生無料

申込み：7月6日よりPeatixにて受付

※会場参加希望で、Peatix(ピーテックス)での申し込みが難しい場合は、電話・メールにて受付。

※ハイブリッド同時開催は、ZOOMでの配信となります。

お申込みはこちらから



<https://furanceoyako.peatix.com>



主催 札幌市男女共同参画センター  
指定管理者：(公財)さっぽろ青少年女性活動協会

協力 一般社団法人国際こども家庭福祉研究所  
社会福祉法人麦の子会

【お問い合わせ先】 TEL011-728-1255 MAIL: [jigyoun@danjyo.sl-plaza.jp](mailto:jigyoun@danjyo.sl-plaza.jp)

札幌市男女共同参画センター 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内

女性と子どもを「権利主体」とした伴走型サポート、新しいカタチへ

支援のまなざしを「保護」から「権利」へ

# フランス子ども家庭福祉研究者

アワ アキコ  
安發明子 さん

akikoawa.com



## 主な書籍

『一人ひとりに届ける福祉が支える フランスの子どもの育ちと家族』かもがわ出版

『NO!と言えるようになるための絵本』ゆまに書房 翻訳

『ターラの夢見た家族生活 家族をまるごと支えるフランスの在宅教育支援』サウザンブックス 翻訳

『親なき子 北海道家庭学校ルポ』金曜日(ペンネーム島津あき)

1981年鹿児島県生まれ。小学校時代4年間をスイスですごす。一橋大学社会学部卒業。学生時代に学習ボランティアとして訪れた児童自立養護施設で日本の子どもの権利について疑問を抱き、全国とスイスの児童保護分野の機関のフィールドワークを行う。うち、北海道家庭学校に感銘を受け『親なき子』を出版。大学卒業後、首都圏で生活保護ワーカーとして働いたのち2011年に渡仏。フランス国立社会科学高等研究院健康社会政策学修士、社会学修士、立命館大学人間科学博士。フランスで出産し現在10歳の子どもを育てている。フランスはじめ欧州各国の調査をしながら日本に発信を続けている。すべての子どもたちが幸せな子ども時代を過ごし、チャンスのある社会をめざして活動している。子どもが幸せに育つ文化の醸成のため無料のイベントも多数開催。 <https://famcarehub.org/result/>

## スペシャルニュース!!

フランスとカナダのエducateerが登壇予定です!



モハメド・ルスニさん <フランス>

フランスの民間団体創設者、エドゥケーター国家資格500人の子どもと若者のフォローを行う。年間予算11億円。世界中から先端的な取り組みをする人を招き、近年の改革を率い、最新2022年の法改正実現につなげる。特に家族を支援の中心に置き、家族の力を引き出すソーシャルワークについて全国の実践者に研修を行う。



サブリー=アデル・サーディさん <カナダ>

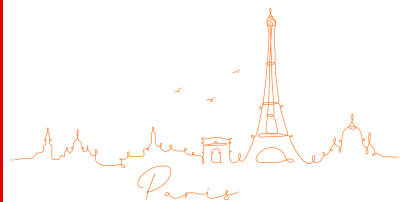
カナダのソーシャルワーカー養成講師、エドゥケーター  
カナダ警察におけるパートナー間暴力や子どもの保護など、暴力が子どもにもたらす影響とそのサポートを専門とする。



エドゥケーターって何?何の資格?何する人? フランスでは1966年からあるソーシャルワーカー国家資格です。潜在力を引き出し、社会の中でのあり方、関係性を支えるのが役割。知ると子ども/若者との関り方の視野が広まります。

## こんな方におすすめ

子育て中のプレッシャーや息苦しさを感じている方、子ども/若者と関わる仕事に就いている方、若年女性/女性支援者、自治体の子ども/若者/女性支援担当者、ジェンダー平等や多様な家族のあり方に関心のある方、これからの「私」「支援」を考えたい学生、ユース。もちろんどなたでも参加できます。一緒にこれからの家庭や子育て、支援のネクストステップを考えてみませんか。



フランスの子育てから考える皆で育てる社会づくり～親子支援とジェンダー～

2026.8.17(月)18:30～20:30 札幌エルプラザ公共4施設

一般1,000円 学生無料

★お申込みはこちらから→→→

主催/お問い合わせ：札幌市男女共同参画センター

TEL:011-728-1255 MAIL: [jigyoun@danjyo.sl-plaza.jp](mailto:jigyoun@danjyo.sl-plaza.jp)

<https://furanceoyako.peatix.com>

